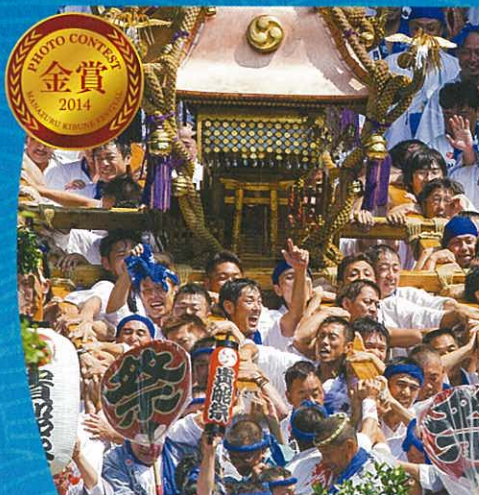
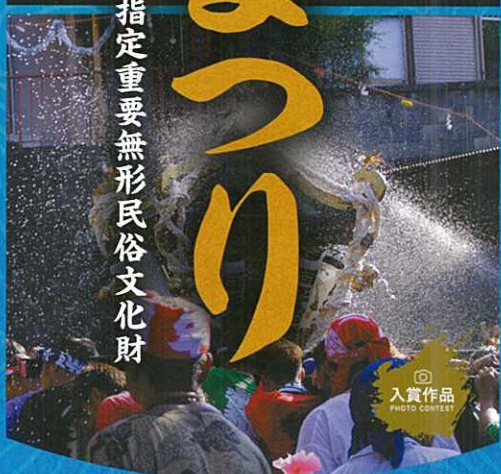
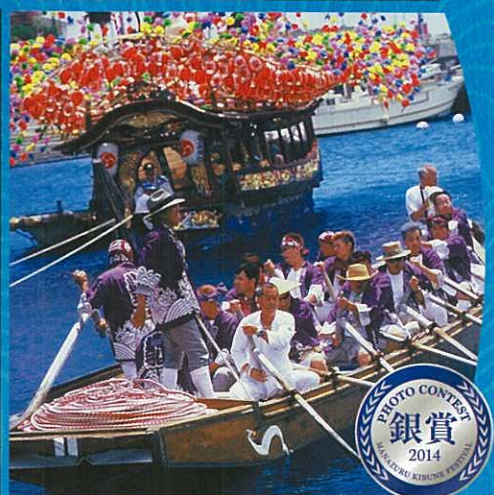
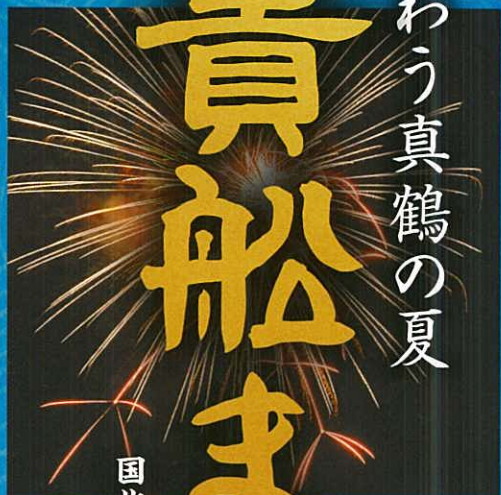
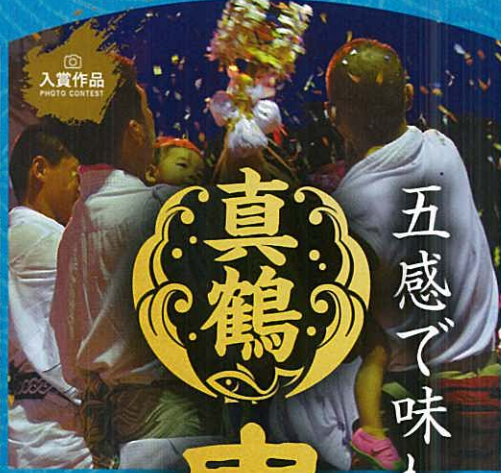


7/27日・28日

神奈川県 真鶴町



貴船まつりは、  
豊漁、無病息災を祈願する、  
真鶴伝統の海の祭礼です。





# 貴船まつり 海上渡御

7月27日・28日

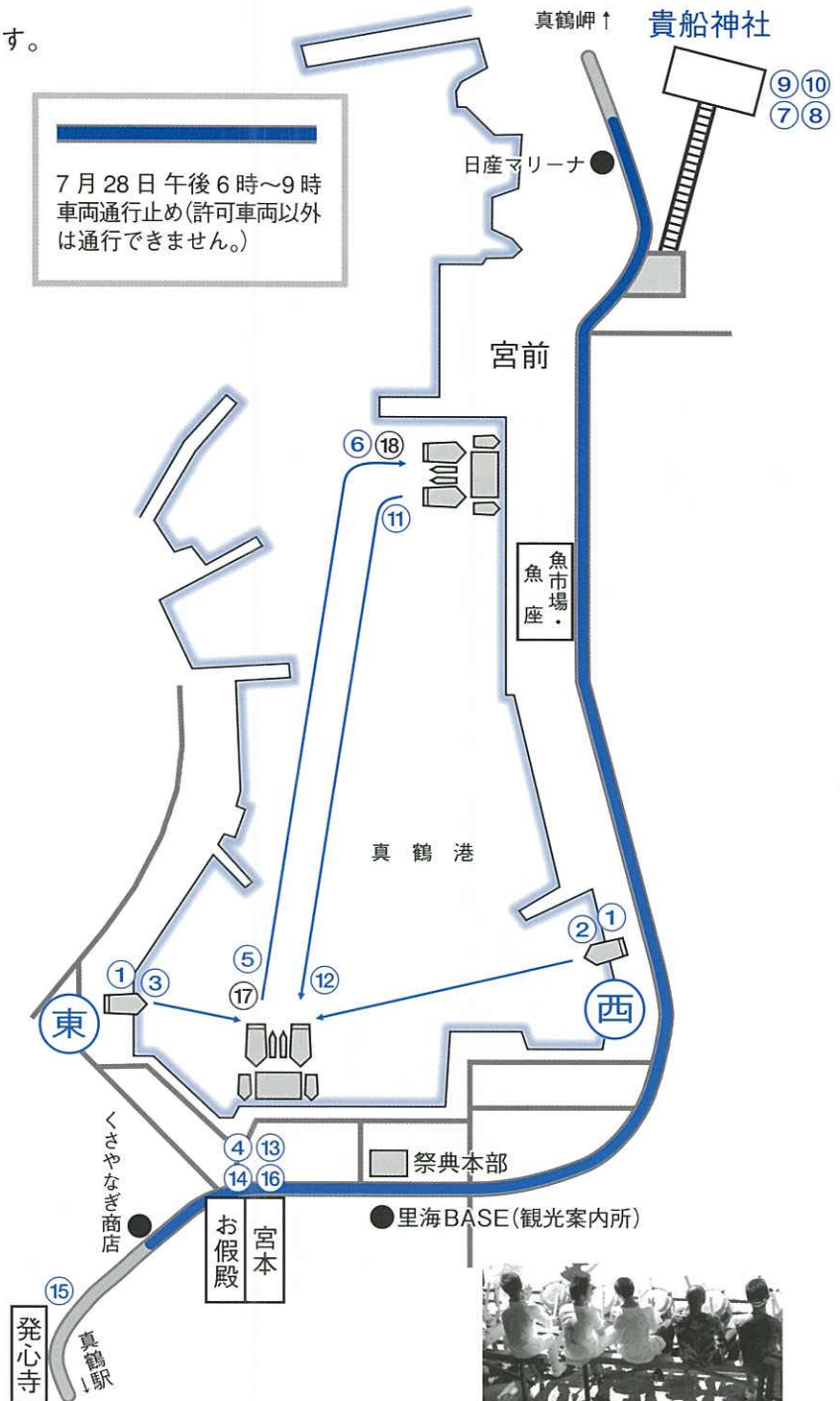
※ 予定時間等は、都合により変更になることがあります。

## 7月27日

- ① 東西舳乗迎え、乗船 10:00~10:30
- ② 西小早船、水浮(進水式) 10:30
- ③ 東小早船、水浮(進水式) 10:50
- ④ 宮本に献幣使奉迎 11:10
- ⑤ 宮本出発(出航) 11:20
- ⑥ 宮前到着 11:50
- ⑦ 神社到着 12:00
- ⑧ 神社祭式 12:10~12:50
- ⑨ 鹿島踊り奉納 12:50~13:30
- ⑩ 神輿発輿式 13:30~13:40
- ⑪ 宮前出航・神輿海上渡御 14:40
- ⑫ 宮本到着 15:10
- ⑬ 假殿祭 16:10
- ⑭ 鹿島踊り奉納 16:20
- ⑮ 花山車下降(発心寺) 16:30
- ⑯ 花山車着納(假殿) 17:30

## 7月28日

- ⑰ 宮本出発(出航) 19:40 (奉納花火)
- ⑱ 宮前到着 20:10



### 宵宮イベント

### ツートン青木とゆかいな仲間たち

— 貴船まつりスペシャルライブ —

出演者: ツートン青木、ジョニー、筈、とむやむくん、杉野裕史ほか  
 日時: 7月27日(月)午後7時30分から  
 会場: 真鶴港特設ステージ(雨天時:まなづる小学校体育館)

無料臨時駐車場/まなづる小学校グラウンド(晴天時のみ) /  
 7月27日(月)・28日(火)午後5時~9時30分

※台数に限りがございますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。



### 小早船(こばやぶね)

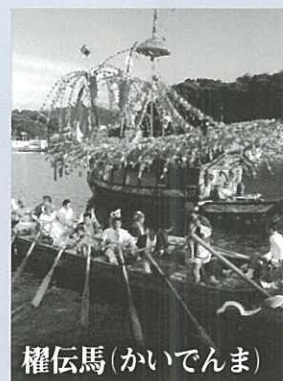


貴船まつりは、神輿が神社から海を渡って村里にお出ましになる船まつりであるということによって有名ですが、中でも東西の華を競う小早船の存在は、まつりの花形です。

船先には「舳乗り」、船尾には船頭、櫂使い、水夫を乗せ、運航等に万全を期します。この小早

船の海上渡御の神事では、観客の前面で船体を左右に大きく揺さぶりながら方向を変える姿が見どころの一つです。

また、船の復元力の保持や組み立てられた屋形の安全性および進水、操船の方法などに習熟した技術が要求されます。



権伝馬(かいでんま)

### 真鶴ばやし(まなづる・ばやし)

両日、海に陸に貴船まつりをにぎやかに盛り上げるのが、この真鶴ばやしです。かつて“小江戸”と呼ばれた江戸っ子気質の真鶴人には、なくてはならない存在です。

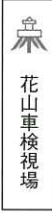
海上渡御にあたり、神輿船・小早船2隻・囃子船2隻の計5隻の船を曳航する2隻の大型伝馬船です。航行の途中からは競漕も行なわれ、過去にはこの競漕で東西に分かれて激しく競い合った歴史があり、それぞれの漕ぎ手には多大の期待がかけられていました。



※ 予定時間等は、都合により変更になることがあります。

花山車	鹿島連	神輿連(協賛)
③ 8:20 お假殿	① 8:20 西本払	① 11:20 お假殿
② 8:30 祭典本部前 (あいちがい)	② 8:30 祭典本部前	② 11:40 発心寺
① 8:35 西本払	③ 8:35 お假殿	③ 12:10 情報センター真鶴
⑦ 11:10 西仲町	④ 8:45 ~9:25 お假殿(奉納)	④ 12:35 真鶴駅
⑧ 11:15 小学校下	⑤ 9:30 ~10:20 西本払(奉納)	⑤ 13:30 真鶴生コン入口
	⑥ 10:20 ~10:50 西仲角(奉納)	⑥ 14:10 真鶴駅
	⑧ 11:15 小学校下	⑦ 15:00 下田屋駐車場
	⑨ 11:30 コミュニティ真鶴	⑧ 15:15 大ヶ窪
	⑩ 12:10 前田花屋角	⑨ 16:00 消防署角
	⑪ 13:15 ~13:55 真鶴駅(奉納)	⑩ 16:25 大店(おおだな)
	⑫ 14:30 ~14:55 町役場(奉納)	⑪ 16:55 西の神
	⑬ 15:50 消防署角	⑫ 17:30 八幡神社
	⑭ 16:10 小学校下	⑬ 18:40 お假殿(入御) (海上渡御 19:40~20:10)
	⑮ 16:20 魚伝前	⑭ 20:30 ~21:10 神社還御
	⑯ 18:50 ~19:30 お假殿(奉納)	
	(海上渡御 19:40~20:10)	
	⑰ 20:30 ~21:10 貴船神社(奉納)	
	⑱ 21:20 ~22:00 津島神社(奉納)	

花山車は、鹿島踊りを常に先行します。進行表の「⑧小学校下」で鹿島踊りと合流し、「検視場」に立ち寄りながら、町内を巡行します。



花山車(はなだし)

重さ60kgにも及ぶ花山車は、かつては石船等の関係者が担当し、日常の仕事を通じて養われた腕力をまつりを機会に披露する一種の「力比べ」ともみられます。常に鹿島踊りを先行して町内を巡回します。



鹿島踊り(かしま・おどり)

鹿島踊りは、相模湾西岸、小田原西部から伊豆北川までの石材産出にかかわった地域の22社で行なわれる神事で、悪疫退散とともに大漁や海上安全を祈願しての踊りと言われてます。貴船まつりの鹿島踊りは、他市町が白装束で烏帽子をかぶるのに対して、浴衣に3色の色帯、揃いの手甲で飾り、無帽です。これは昔から「小江戸」と呼ばれたほど華やかさを誇っていた地域性を反映したものと思われます。

「貴船まつりは鹿島踊りに始まり、鹿島踊りに終る」とさえ言われ、まつりの見どころの一つとなっています。

